

マイナーな研究分野を開拓中:

実証的宗教心理学の挑戦

イリノイ州立大学心理学部 Masami Takahashi



## 実証的宗教心理学の取り組み

- 研究会設立の意味
  - 辻本 耐(南山大学社会倫理研究所)
- プロジェクト立ち上げの意義
  - 西脇 良(南山大学)
- 書籍出版の意義
  - 川島大輔(中京大学)
- 学術誌創刊の意義
  - 白岩祐子(埼玉県立大学)
- 関連分野との協働の意義
  - 藤井修平(東京家政大学)

# 実宗心がマイナーで居続ける理由

- 「ない、ないだらけ」
- 研究発表の埋没
- 過去の栄光にすがれない
- 日本における宗教の複雑さ
- 心理学界全体の構造的な大枠の欠如

# 「ない、ないだらけ」

- 本当に「ない」のか？
  - 指導者の「ある」から引き出す
    - 宗教に関する知識
  - クリエイティブに探す（叡智研究の例：知識考古学と暗黙理論の発見）
  - 「暗闇での落とし物を街灯の下で探さない」

# 研究発表の埋没

- データベースの欠如
  - 経験知の蓄積が困難
  - 研究結果の公開性・透明性にも影響
  - データの公開と共有
- 英論文/書籍の欠如
  - 協働と知の共有
  - 日本の研究者に言語の提供
  - 書籍出版の容易さ

# 過去の栄光にすがれない

- 宗教に関する思考枠組みが脆弱
- スピリチュアリティの曖昧さ

# 日本における宗教の複雑さ

- 日本の宗教は本当に複雑か？
  - 実証主義と行動主義の影響
- 実証的宗教心理学のアプローチ

# 心理学界全体の構造的欠如

- JPAの組織的問題と立ち位置
- 実証的な心理学という土台の欠如



# まとめ

- データベースの制作と日本文化にも適し  
精緻された測定法・質問紙の開発
- 宗教心理学界（または心理学会全体）の  
枠組みの（再）構築